

BenQ

FP222W H

22" ワイドスクリーン LCD モニタ
ユーザーズ ガイド

ようこそ

著作権

Copyright © 2007 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

免責

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

モニタが最高の性能で動作するよう、またモニタをできるだけ長くお使いいただくために、以下の安全上の注意点に従ってください。

電源についての安全対策

- AC プラグにより、AC 電源と本装置の接続が解除されます。
- 電源コードは、プラグ着脱可能な装置では電源停止デバイスとして機能します。電源コンセントは、本装置の近くに設置され、すぐに利用できる状態になっている必要があります。
- 本製品は、ラベルのマークに示されている電源タイプで動作させる必要があります。利用可能な電源のタイプが不明の場合は、取扱店または地域の電気会社にお問い合わせください。

お手入れと清掃

- 清掃を行う前に、必ず壁のコンセントからモニタの電源コードをはずしてください。LCD モニタの表面を、けば立ちのない非研磨性の布でふきます。液体、エアゾール、ガラスクリーナは使用しないでください。
- キャビネット背面または上面のスロットと開口部は換気用のものです。これらの部分をふさいだり、覆ったりしないようにしてください。モニタは、ラジエータまたは熱源の近くや上部に置かないでください。また、適切な換気が行われない限り、内蔵させないようにしてください。
- 本製品内に異物を押し込んだり、液体をこぼしたりしないようにしてください。

保守

本製品の保守をご自身で行わないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、高電圧部分やその他の危険な部分に触れるおそれがあります。上記の誤用、または落下や取り扱いミスなどその他の事故については、認定サービス担当者に連絡を取り、保守を依頼してください。

目次


はじめに	4
モニタの外観	5
前面ビュー	5
背面ビュー	5
左面	6
モニタ ハードウェアの取り付け方法	7
スタンドベースの取り外し	10
モニタ取り付けキットの使用法	11
BenQ モニタの特長を生かすために	13
新しいコンピュータにモニタをインストールするには	14
既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには	15
Windows Vista システムへのインストール方法	16
Windows XP システムにインストールするには	17
スクリーンの解像度の調整方法	19
Windows では次の手順にしたがって解像度を変更することができます。...	19
リフレッシュレートの調整方法	20
Windows では次の手順にしたがってリフレッシュレートを変更することができます。...	20
画像の最適化	21
モニタの調整	22
コントロール パネル	22
OSD（オンスクリーン ディスプレイ）メニューの構造	23
ホットキー モード	24
メインメニュー モード	25
トラブルシューティング	34
よくある質問 (FAQ)	34
それでも具合が悪いときは	35
対応する PC タイミング	36
仕様	37

1.はじめに

FP222W H はビデオ解像度 1680 x 1050 でディスプレイを最適化します。お使いになるグラフィックカードが 1680 x 1050 の解像度に対応していることを確認してください。

以下のものが揃っていることを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあつた場合には、製品をお買い上げいただいた販売店まで直ちにご連絡ください。

BenQ LCD モニタ	
クイック スタート ガイド	
CD-ROM ディスク	
電源コード (地域によって製品図が異なる場合があります)	
信号ケーブル: D-Sub	
信号ケーブル: DVI-D (オプション)	

 モニタの梱包材料は、将来搬送する必要があるためのために捨てずに保管しておいてください。専用の発泡スチロールは、移動中にモニタを保護するのに適しています。

2. モニタの外観

前面ビュー



背面ビュー

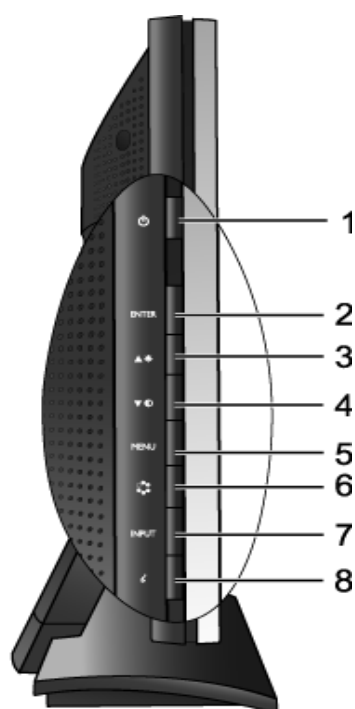


1. 電源 AC 入力ジャック
2. HDMI* 入力ソケット
2. DVI-D 入力ソケット
3. D-Sub 入力ソケット



*HDMI (High Definition Multimedia Interface) は初めて業界でサポートされた、圧縮をかけない、オーディオ / ビデオソースと、オーディオあるいはビデオモニタ間の完全デジタルオーディオ / ビデオインターフェースです。他のコネクタとは異なり、HDMI コネクタは同一ケーブルでビデオ信号とオーディオ信号の両方を転送することができ、未圧縮のオーディオおよびビデオを転送して高品質な画像を再現します。この規格はデジタル TV (DTV)、セットトップボックス、DVD プレーヤー、DVD レコーダなどでサポートされてます。**FP222W H** の HDMI コネクタは、ビデオソースにしか対応してません。

左面



1. 電源スイッチ
2. [ENTER] キー
3. ▲ (Up) / 輝度キー
4. ▼ (Down) / コントラスト キー
5. [MENU] キー
6. [Mode] ード
7. [Input] キー
8. [key]

3. モニタ ハードウェアの取り付け方法

☞ コンピュータの電源がオンになっている場合は、モニタを設置する前にオフにしてください。コンピュータをオンにしたままモニタを接続したり、モニタの電源を入れたりしないでください。

1. モニタベースを設置します。

☞ モニタが破損しないように注意してください。スクリーン面をホッチキスやマウスなどの異物にぶつけると、ガラスが割れたり、LCD サブストレートが破損したりします。このような事故については保証が適用されません。モニタを机の上で滑らせると、モニタの周りやコントロールにキズがついたり、破損したりします。

モニタおよびスクリーンは物が置かれていない平面的な机の上に設置し、またクッションとしてモニタパッケージバッグのような柔らかい物の上に置いてください。

スクリーンを下向きにして、物が置かれていないパッドの上に置いてください。

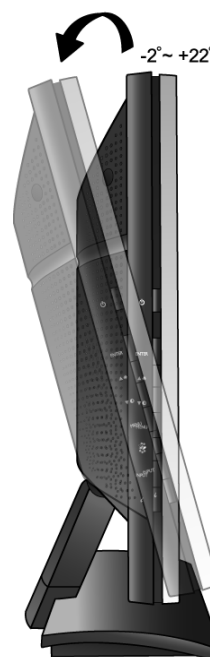
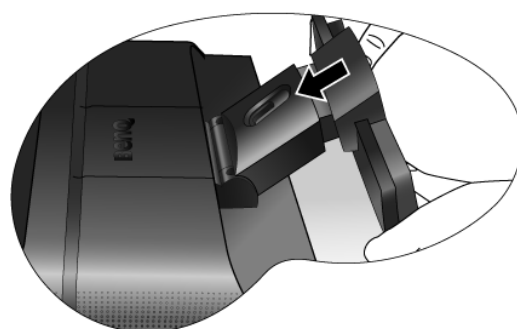
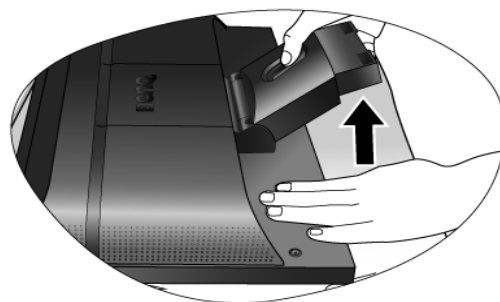
モニタをしっかりと持ち、モニタのスタンドアームを上へ引き上げてください。

スタンドベースのソケットとスタンドアームの端の向きを合わせて、カチッという音がしてロックされるまで押し込んでください。

ゆっくりと引き上げてみて、しっかりと設置されたことを確認します。

ゆっくりとモニタを持ち上げて、机の上に正面を向くように設置します。

💡 照明の反射を最小限に留めるために、モニタの位置とスクリーンの角度を調整してください。



2. PC ビデオケーブルを接続します。

☞ 同一 PC に DVI-D ケーブルと D-Sub ケーブルを同時に使用しないでください。これらのケーブルは、2 台の異なる PC と適切なビデオシステムがある場合のみ同時に使用することができます。

DVI-D ケーブルをモニタの DVI-D ソケットに接続し、もう片端をコンピュータの DVI-D ポートに接続します。(オプション)

💡 ソースビデオとデジタルLCDモニタやプロジェクタを直接接続する場合は、DVI-D フォーマットを使用します。デジタルビデオ信号は、アナログ信号よりも優れた品質を実現します。

D-Sub ケーブル (フェライトフィルタが付いていない方) をモニタの D-Sub ソケットに繋ぎます。

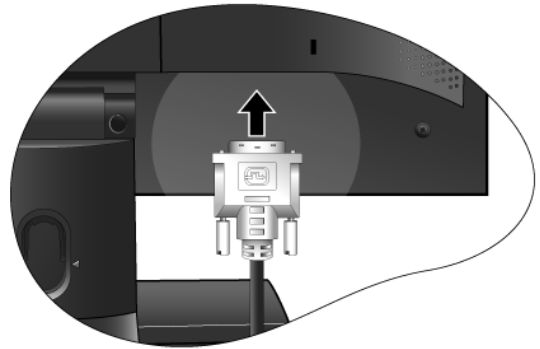
D-Sub ケーブル (フェライトフィルタが付いている方) をコンピュータのビデオ D-Sub ソケットに繋ぎます。

使用中にプラグが外れてしまわないように、すべてのネジをしっかりと締めてください。

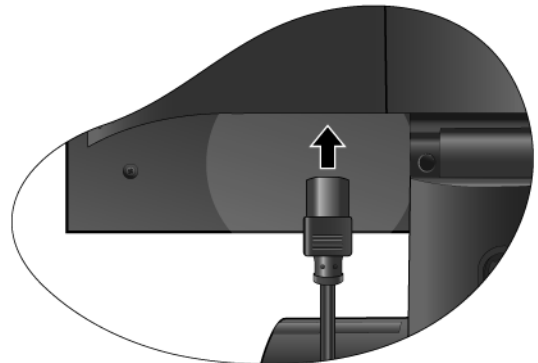
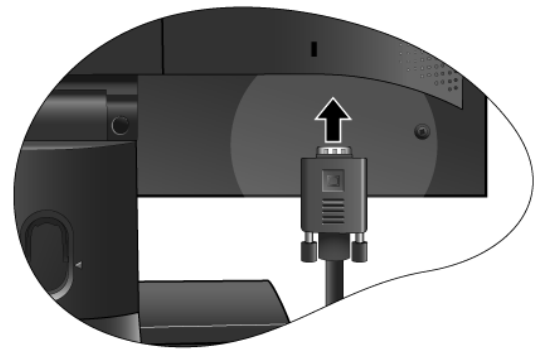
3. モニタに電源ケーブルを接続します。

モニタの背面の「POWER IN」と記載されたソケットに電源コードをつなぎます。この時点ではまだコンセントにプラグを差し込まないでください。

あるいは

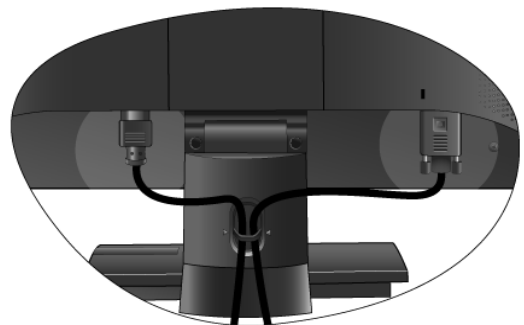
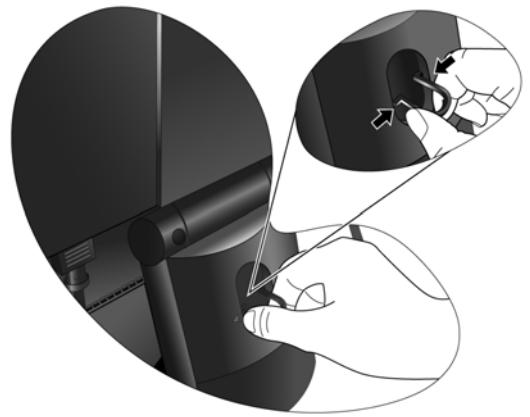


または




4. ケーブルをブラケットに通します。

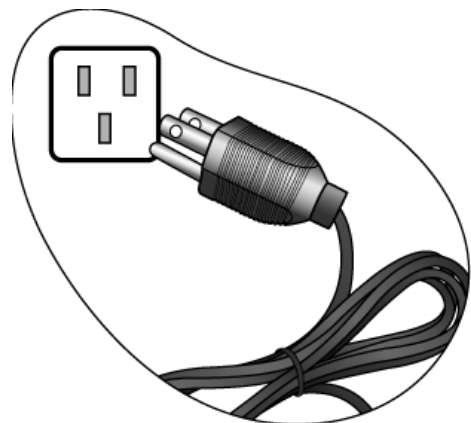
図に示す通り、クリップを内側に押し込んでケーブルを放します。ケーブルをまとめてクリップを再度挿入し、モニタスタンドの後ろにきれいに収納します。



5. 電源に接続し、電源をオンにします。

電源コードをコンセントに差し込んで、電源を入れます。

 地域によって製品図が異なる場合があります。



電源ボタン（モニタの左側にある一番上のボタン）を押してモニタの電源を入れます。

コンピュータの電源も入れて、セクション4 **BenQ モニタの特長を生かすために**の手順にしたがって、モニタソフトをインストールしてください。



スタンドベースの取り外し

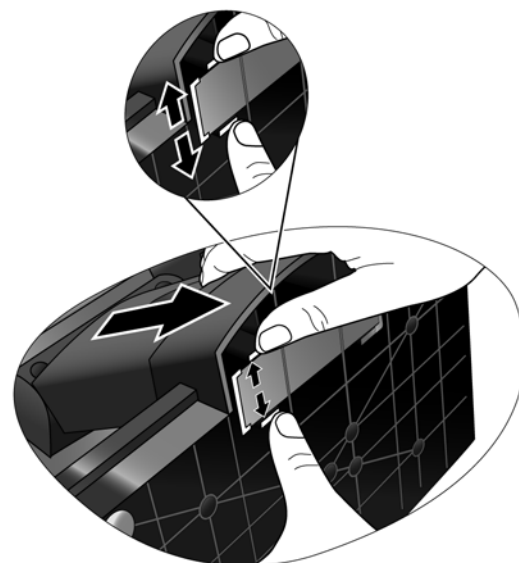
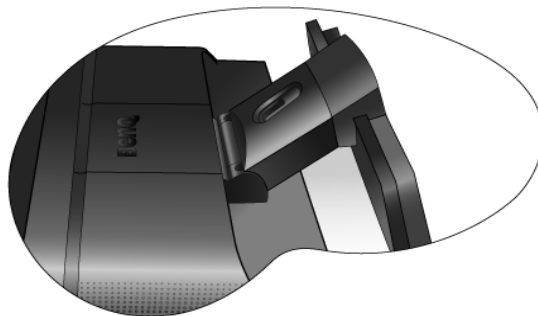
1. モニタと作業場所の準備。

電源ケーブルを外す前に、モニタの電源を切ります。モニタ信号ケーブルを外す前に、コンピュータの電源も切ります。

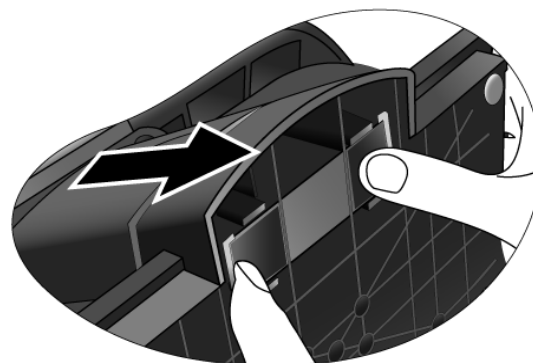
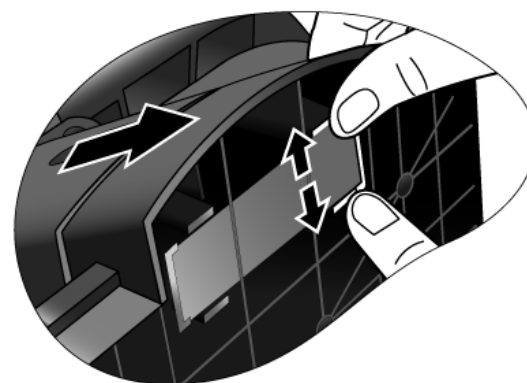
☞ モニタが破損しないように注意してください。スクリーン面をホッチキスやマウスなどの異物にぶつけると、ガラスが割れたり、LCD サブストレートが破損したりします。このような事故については保証が適用されません。モニタを机の上で滑らせると、モニタの周りやコントロールにキズがついたり、破損したりします。

ベースを取り外す際モニタとスクリーンにキズがつかないように、机の上の物を一旦別の場所に移します。次にクッションとしてタオルなどの柔らかい物の上にスクリーンを下向きに置きます。

2. スタンドベースの片方のロッククリップを外して、スタンドアームからベースの端を引き離します。



3. もう片方のロッククリップを外してスタンドベースをモニタスタンドアームから外します。



モニタ取り付けキットの使用法

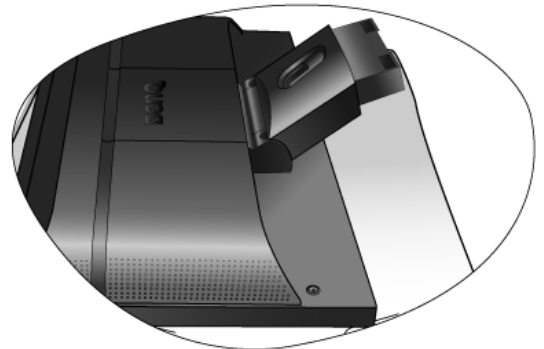
LCD モニタの背面には100mmのパターンを持つVESA 規格のマウントがあります。これを使ってモニタを壁に設置することができます。モニタ取り付けキットの取り付けを始める前に、以下の注意事項をお読みください。

注意事項

- モニタおよびモニタ取り付けキットは、平らな壁面に取り付けてください。
- 壁の材質がしっかりしていて、モニタの重量に耐えられることを確認してください。
- ケーブルをLCD モニタから外すときには、まずモニタのスイッチと電源を切ってください。

1. モニタのベースを外します。

スクリーンを下向きにして、ショック防止用の素材を置いた平面な場所に寝かせてください。[10 ページ](#)の「[スタンドベースの取り外し](#)」に示す図を参考に、モニタベースを外します。

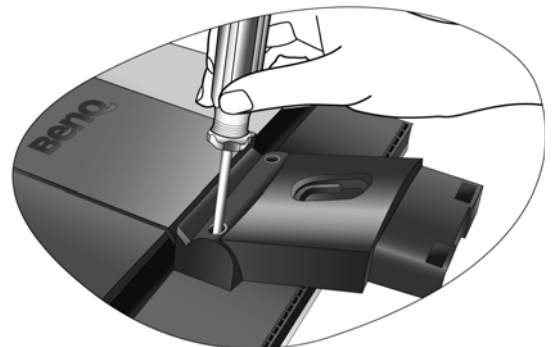


2. モニタスタンドを外します。

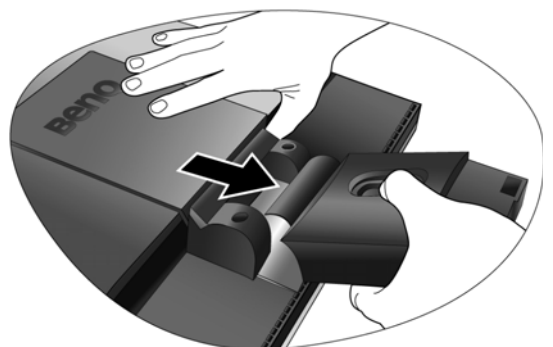
プラスドライバを使って、モニタスタンドをモニタに固定しているネジを緩めてください。

👉 ヘッドが磁石になっているドライバを使用すると、ネジを紛失するのを防止することができます。

モニタスタンドを後ろへ引っ張ります。

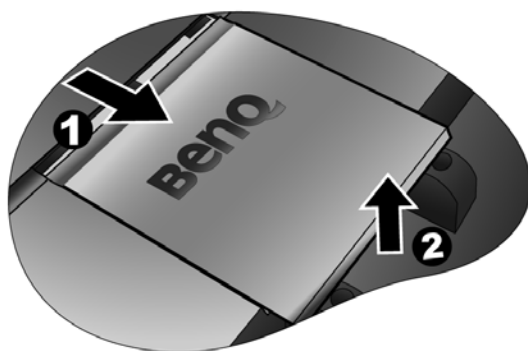


💡 将来モニタスタンドを使用する可能性がある場合は、モニタベース、スタンド、ネジは安全な場所に保管しておいてください。

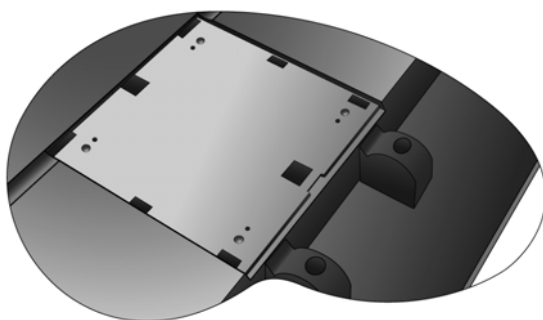


3. リアカバーを外します。

リアカバーを手前にスライドさせて外します。するとモニタの背面にあるネジ板が見えるはずです。



4. 購入された壁設置用ブラケットの説明書をお読みになり、モニタを正しく設置してください。



4. BenQ モニタの特長を生かすために

BenQ カラー LCD フラットスクリーンモニタの利点を最大限に生かすには、BenQ LCD Monitor CD-ROMに格納されている BenQ LCD Monitor ドライバをインストールする必要があります。

BenQ LCD モニタを接続、インストールする状況に応じて、BenQ LCD Monitor ドライバをインストールする手順が変わります。これらの状況とは、使用する Microsoft Windows のバージョン、モニタを接続し、ドライバをインストールするコンピュータが新しいものであるかどうか（既存のモニタドライバが存在しないかどうか）、または既存のドライバを新しいモニタ用にアップグレードするかどうか（既存のモニタドライバが存在する）などを指します。

いずれの場合にしても、次回コンピュータの電源を入れるとき（コンピュータにモニタを接続した後）、Windows は自動的に新しい（または異なる）ハードウェアを識別し、新しいハードウェアが検出されましたウィザードを起動します。

モニタモデルを選択するように要求されるところまで、ウィザードの指示にしたがってください。このとき、ディスク使用ボタンをクリックして BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入し、適切なモニタモデルを選択します。自動インストール（新規ドライバ）とアップグレード（既存のドライバ）の手順については、次のセクションをお読みください。

- 14 ページの「新しいコンピュータにモニタをインストールするには」
- 15 ページの「既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには」

🔑 ログインするためにユーザー名とパスワードの入力が必要な Windows コンピュータにモニタドライバをインストールするには、管理者の権限でログオンするか、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。また、セキュリティ設定が施されたネットワークにコンピュータを接続している場合は、ネットワークポリシーによりコンピュータにドライバをインストールできない場合があります。

新しいコンピュータにモニタをインストールするには

ここでは、まだモニタドライバが何もインストールされていない新しいコンピュータで BenQ LCD モニタドライバを選択し、インストールする手順を説明します。この手順は未使用のコンピュータで、BenQ LCD モニタが初めて接続するモニタである場合にのみしたがってください。

☞すでに他のモニタを接続したことがある、使用済みのコンピュータに BenQ LCD モニタを接続する場合は (すでにモニタドライバがインストールされている場合)、この手順にしたがうことはできません。代わりに [15 ページの「既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには」](#) の手順にしたがってください。


1. [7 ページの「モニタ ハードウェアの取り付け方法」](#) に記載される手順にしたがってください。

Windows が起動すると、新しいモニタが自動的に検出され、**新しいハードウェアが検出されましたウィザード** が起動します。ハードウェアドライバのインストールオプションが表示されるまで、画面の指示にしたがってください。

2. BenQ LCD Monitor CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入します。
3. デバイスに最適なドライバを検索するオプションをチェックし、次へをクリックします。
4. **CD-ROM drives** オプションをチェックし (その他のオプションはチェックしない)、次へをクリックします。
5. ウィザードが「BenQ FP222WH」というモニタ名を選択することを確認したら、次へをクリックします。
6. 完了をクリックします。
7. コンピュータを再起動します。

既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには

ここでは、Microsoft Windows コンピュータ上で既存のモニタドライバを手動で更新する方法を説明します。モニタドライバは現段階で Windows XP および Windows Vista との互換性がテストされています (推奨のみ)。

 このモデルの BenQ LCD モニタドライバは他のバージョンの Windows と問題なく作動するはずですが、本書作成段階において他のバージョンの Windows でこれらのドライバのテストが完了しておらず、正常な作動を保証することはできません。

モニタドライバをインストールするには、BenQ LCD Monitor CD-ROM から使用するモニタモデル用の適切な情報ファイル(.inf) を選択し、Windows に相当するドライバを CD からインストールさせる必要があります。必要な作業は自動的に行われます。Windows には自動的に作業を行い、ファイル選択とインストール手順をガイドしてくれるデバイスドライバのアップグレードウィザードが用意されています。

詳細は、を参照してください。

- [16 ページの Windows Vista システムへのインストール方法をお読みください。](#)
- [17 ページの Windows XP システムにインストールするにはをお読みください。](#)

Windows Vista システムへのインストール方法

1. **Display Settings (画面の設定)** を開きます。
デスクトップを右クリックして、ポップアップメニューから **Personalize (カスタマイズ)** を選択します。
Personalize appearance and sounds (表示とサウンドをカスタマイズ) ウィンドウから **Display Settings (画面の設定)** を選択します。
すると **Display Settings (画面の設定)** ウィンドウが開きます。
2. **Advanced Settings (詳細設定)** ボタンをクリックします。
すると **Generic PnP Monitor Properties (一般 PnP モニタのプロパティ)** ウィンドウが開きます。
3. **Monitor (モニタ)** タブをクリックし、次に **Properties (プロパティ)** ボタンをクリックします。
4. **User Account Control (ユーザーアカウント コントロール)** ウィンドウで **Continue (続行)** をクリックします。
5. **Driver (ドライバ)** タブをクリックし、次に **Update Driver (ドライバの更新)** ボタンをクリックします。
6. コンピュータの CD ドライブに BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入します。
7. **Update Driver Software (ドライバ ソフトウェアの更新)** ウィンドウで "**Browse my computer for driver software (コンピュータからドライバ ソフトウェアを探す)**" オプションを選択します。
8. "**Browse (参照)**" をクリックし、CD から **Driver > Windows Vista > FP222WH** を選択した後、**Next (次へ)** ボタンをクリックします。
すると適切なモニタドライバファイルがコンピュータにコピーされ、インストールされます。
9. **Close (閉じる)** をクリックしてください。
BenQ LCD モニタドライバが必要な作業を行いますので、Windows Vista を再起動する必要はありません。

Windows XP システムにインストールするには

1. 画面のプロパティを開きます。

画面のプロパティは、Windows デスクトップから選択するのが一番簡単です。
デスクトップを右クリックし、ポップアップメニューから**プロパティ**を選択します。

また画面のプロパティはコントロールパネルから開くこともできます。

Windows XP バージョンでは、コントロールパネルはメインのスタートメニューから直接選択できます。

表示されるメニューオプションは、システムで選択した表示タイプによって異なります。

- ・ クラシックビューでは、**スタート | コントロールパネル | 画面**をクリックします。
- ・ カテゴリービューでは、**スタート | コントロールパネル | 表示とテーマ | 画面の解像度を変更**をクリックします。

すると画面のプロパティが開きます。

2. 設定タブを選択し、詳細ボタンをクリックします。

すると詳細画面のプロパティが開きます。

3. モニタタブをクリックし、リストから[プラグアンドプレイ モニタ]を選択します。

1 台のモニタしかリストされていない場合は、そのモニタがすでに選択されています。

4. プロパティボタンをクリックします。

すると画面のプロパティが開きます。

ドライバの製造元が「BenQ」と表示されており、新しいモニタと同じモデル名が表示されている場合は、正しいドライバがすでにインストールされていますので何もすることはありません。これらのプロパティウィンドウを閉じてください。

ただし、製造元が「BenQ」と表示されていない場合、または正しいモデル名が表示されていない場合は、続けて次の手順にしたがってください。

5. ドライバタブをクリックし、ドライバの更新ボタンをクリックします。


するとハードウェアの更新ウィザードが表示されます。ウィザードの手順にしたがってください。

6. コンピュータのCDドライブにこのBenQ LCD Monitor CD-ROMを挿入します。

7. リストまたは指定した場所からインストールオプションを選択し、次へをクリックします。

8. これらの場所から最適なドライバを検索オプションと、リムーバブルメディアを検索オプションを選択し、次へをクリックします。

ウィザードがドライバと、ステップ6で挿入したBenQ LCD Monitor CDを検出しますのでしばらくお待ちください。検出後は、このモニタモデルに合ったBenQドライバがCDから検出、選択されています。この場合、「d:\Driver\Windows XP\FP222WH\BenQFP222WH.inf」またはそれに似た場所に「BenQ FP222WH」と表示されます。

 CDドライブのドライブ文字は、お使いになるシステムによって上の例とは異なる場合があります。
D:、E:、F: かもしれませんが、それ以外の文字かもしれません。

9. ファイル名 **BenQ FP222WH** を選択(クリック)し、次へボタンをクリックします。

コンピュータに適切なドライバファイルがコピーされ、インストールされます。

10. 完了をクリックします。

するとウィザードが終了し、**画面のプロパティ**に戻ります。今回は BenQ FP222WH の**プロパティ**に名前が変わっています。

11. 閉じますかの後、**OK**をクリックします。

画面のプロパティを閉じます。後は何もしなくても BenQ LCD モニタドライバが直ちに作動しますので、Windows XP を再起動する必要はありません。

5. スクリーンの解像度の調整方法

LCD テクノロジーの特性により、画像の解像度が常に固定されています。BenQ FP222W H で画像を最高の状態で表示するには、1680 x 1050 の解像度を使用してください。画像が最も鮮明に表示されるこの解像度を、「ネイティブ解像度」または最高解像度と呼びます。最低解像度は補間回路を介して全画面で表示されます。イメージタイプとその初期の解像度によっては、補間解像度でピクセルの境界部分がちらつく場合があります。

☞ LCD 技術の特性を最大限生かすには、下記に説明する手順にしたがって PC 画面の解像度を 1680 x 1050 に設定してください。この解像度に対応していない PC ビデオカードもありますのでご注意ください。その場合は、ビデオカードメーカーのホームページから、使用するビデオカードにこの解像度に対応させる最新アップデートドライバをダウンロードしてください。新しいハードウェアビデオ解像度に対応できるように、ソフトウェアビデオドライバは頻繁に更新され、ダウンロードできるようになっています。場合によっては、このモニタの解像度に対応できるように PC ビデオカードを交換する必要があるかもしれません。

Windows では次の手順にしたがって解像度を変更することができます。

1. 画面のプロパティを開き、設定タブを選択します。
Windows デスクトップを右クリックしてポップアップメニューから**プロパティ**を選択すると、**画面のプロパティ**を選択できます。
2. 「画面の領域」セクションのスライダを使って解像度を調整してください。
1680 x 1050 を選択し、**適用**をクリックします。
3. **OK**の後、はいをクリックします。
4. 画面のプロパティを閉じます。

6. リフレッシュレートの調整方法

LCD ディスプレイでは技術的にちらつきが生じることはありませんので、リフレッシュレートを最高値に設定する必要はありません。最適なオプションは、コンピュータにすでに設定されている工場設定モードです。本書の仕様セクションに、工場設定モードの表が記載されています：
[36 ページの「対応する PC タイミング」](#)




ネイティブ解像度 1680 x 1050 には、60 Hertz を選択できます。


Windows では次の手順にしたがってリフレッシュレートを変更することができます。

1. コントロールパネルで画面アイコンをクリックします。
2. 画面のプロパティで設定タブを選択し、詳細ボタンをクリックします。
3. アダプタタブを選択し、仕様欄にリストされている工場設定モードのいずれかに合ったリフレッシュレートを選択してください。
4. 変更、OK、次にはいをクリックします。
5. 画面のプロパティを閉じます。

7. 画像の最適化

アナログ入力（D-Sub）から画像を最適化するために最も簡単な方法は、[ikey] 機能を使うことです。コントロールパネルで [ikey] を押すと、モニタが自動的に調整されます。

 デジタルケーブル（DVI）を使ってデジタルビデオ出力をモニタに接続する場合は、[i key] と自動調整機能は無効になります。なぜなら、モニタは自動的に最高の画像を表示するからです。

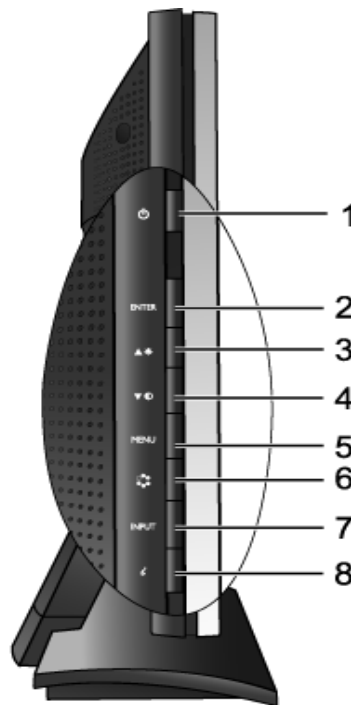
 [i key] 機能を使用するときには、コンピュータに接続したグラフィックカードがモニタ本来の解像度（1680 x 1050）に設定されていることを確認してください。

幾何学メニューからは、いつでも画面の幾何設定を手動で調整することができます。これを簡単に行えるように、スクリーンテスト画像ユーティリティが用意されています。これを使用することによって、画面の色、グレースケール、ラインのグラデーションなどを確認することができます。

1. CD-ROM からテストプログラム auto.exe を起動してください。変更結果を調べるには、これが最も良い方法です。OS のデスクトップなど、他のイメージを使用することもできます。それでも、auto.exe を起動するとテストパターンが表示されますので、auto.exe を使用されるようお勧めします。
2. モニタの [i key] ボタンを押してください。
3. コントロールパネルで “MENU” を押すと、OSD にアクセスします。
4. 縦にノイズが走っている場合（縦のラインがゆらめくカーテン効果に似ています）は ▲ か ▼ キーを押して、“Pixel Clock” を選択した後 “ENTER” キーを押します。ここでモニタのノイズが消えるまで ▲ か ▼ キーを押します。
5. 横にノイズが走っている場合は ▲ か ▼ キーを押して、“Phase” を選択した後、“ENTER” キーを押します。ここでモニタのノイズが消えるまで ▲ か ▼ キーを押します。

8. モニタの調整

コントロールパネル



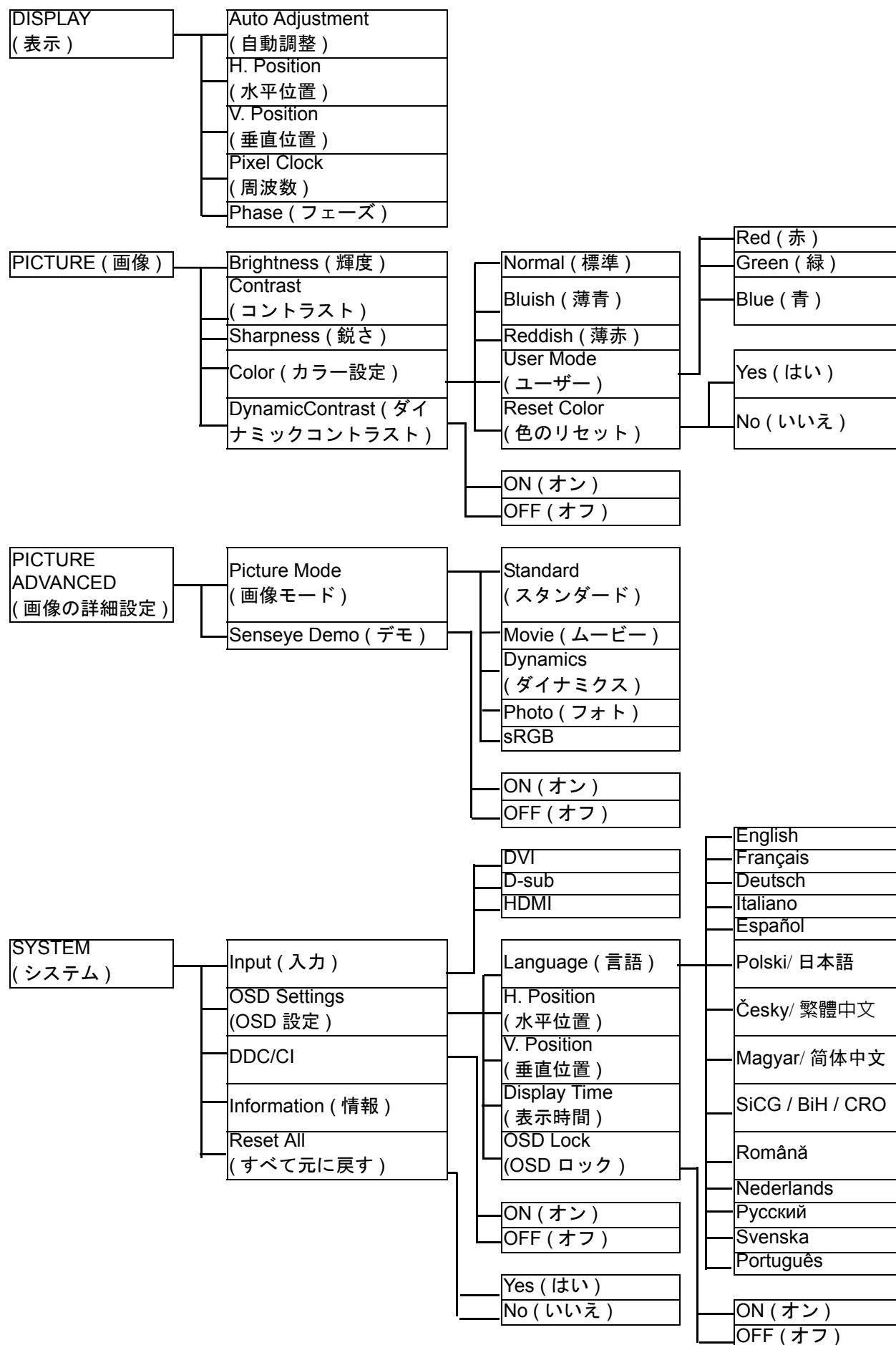
1. 電源スイッチ：電源を ON/OFF します。
2. [ENTER] キー：サブメニューからアイテムを選択します。
3. ▲ (Up) キー：調整時に値をもっと大きくする場合に使用します。輝度のホットキーとしても使用します。
4. ▼ (Down) キー：調整時に値をもっと小さくする場合に使用します。コントラストのホットキーとしても使用します。
5. [MENU] キー：OSD メインメニューを有効にして、前のメニューに戻るか、OSD を終了します。
6. [Mode] モードキー：スタンダード、ムービー、ダイナミクス、フォト、sRGBなどのモードを切り替えます。
7. [Input] キー：入力信号 D-Sub, DVI, と HDMI を手動で切り替えます。
8. [ikey]：垂直位置、位相、水平位置、ピクセルクロックを自動的に調整します。



OSD = オンスクリーン ディスプレイ

ホットキーを押すと設定値を調整するためのグラデーションが表示されます。これは OSD メニューが表示されていない場合にのみ使用することができます。ホットキーはキーを何も押さなければ数秒で消えます。詳細は、[24 ページの「ホットキー モード」](#)を参照してください。

OSD（オンスクリーン ディスプレイ）メニューの構造



ホットキー モード

モニタキーは、メニューが画面に表示されていないときに特定の機能を直接実行するためのホットキーの役割を果たします。

輝度ホットキー



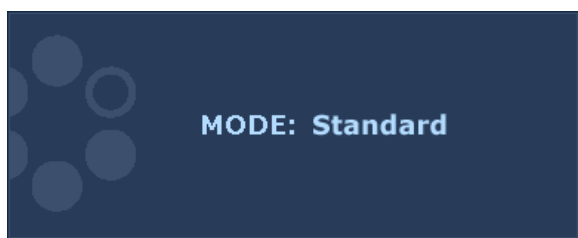
▲ キーを押すと Brightness（輝度）インジケータが表示されます。さらに ▲ キーを押すと輝度が高まり、▼ キーを押すと輝度が低くなります。メニューを終了するには MENU（メニュー）キーを押してください。

コントラストホットキー



▼ キーを押すと Contrast（コントラスト）インジケータが表示されます。さらに ▲ キーを押すとコントラストが高まり、▼ キーを押すとコントラストが低くなります。メニューを終了するには MENU（メニュー）キーを押してください。

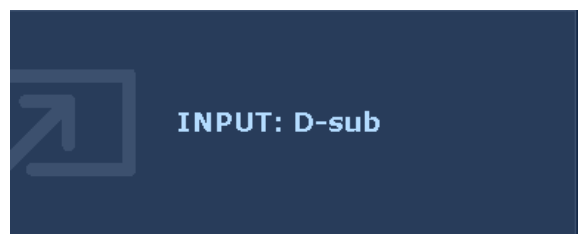
モードホットキー



このキーを押し続けると、メインウィンドウの5つのモード（スタンダード、ムービー、ダイナミクス、フォト、sRGB）を切り替えることができます。設定は直ちに反映されます。

[30 ページの Picture Mode（画像モード）をお読みください](#) も参照してください。

入力ホットキー



入力キーを押して、モニタに接続するビデオ信号を選択してください。

設定は直ちに反映されます。

[31 ページの Input（入力）をお読みください](#) も参照してください。

メインメニュー モード

モニタの設定はすべて OSD で行うことができます。

MENU（メニュー）キーを押すと、次のようなメインメニューが表示されます。



メインメニューには 4 種類あります。

1. DISPLAY（表示）
2. PICTURE（画像）
3. PICTURE ADVANCED
（画像の詳細設定）
4. SYSTEM（システム）

▲ または ▼（右）キーを使ってメニューアイテムを選択し、ENTER キーを押すとメニューアイテムの設定が表示されます。

💡 メニュー言語は 14ヶ国語の中から選択することができます。詳細は、「OSD 設定」の [31 ページの「Language（言語）」](#) を参照してください。

各メニューについての詳細は、次のページを参照してください。

- [26 ページの「Display（表示）メニュー」](#)
- [28 ページの「Picture（画像）メニュー」](#)
- [30 ページの「Picture Advanced（画像の詳細設定）メニュー」](#)
- [31 ページの「System（システム）メニュー」](#)

Display（表示）メニュー

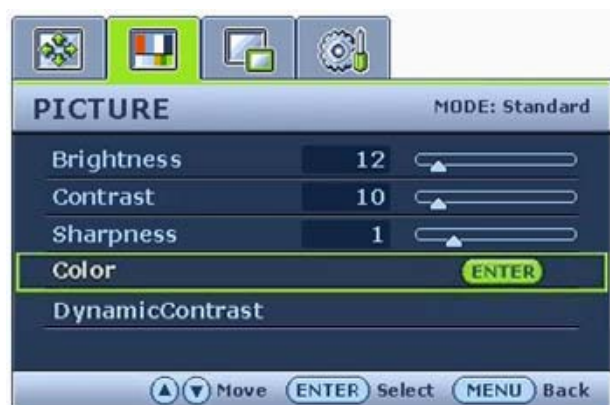


1. **MENU**（メニュー）キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ キーを押して **DISPLAY**（表示）を選択し、**ENTER** キーを押すとメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、**ENTER** キーを押してそのアイテムを選択します。
4. ▲ または ▼ キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、**MENU**（メニュー）ボタンを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
Auto Adjustment （自動調整）	<p>スクリーン設定を自動的に最適化、調整します。 [ikey] ボタンはこの機能のホットキーです。</p> <p>🔌 デジタルケーブル（DVI）を使ってデジタルビデオ出力をモニタに接続する場合は、[i key] と自動調整機能は無効になります。</p>	ENTER キーを押すときのオプションが選択されますので、必要に応じて調整してください。	


H. Position (水平位置)	イメージの水平位置を調整します。	▲ または ▼ キーを押して 値を調整します。	0 から 100
V. Position (垂直位置)	イメージの垂直位置を調整します。		0 から 100
Pixel Clock (周波数)	アナログ入力ビデオ信号と同期を取るように、周波数のタイミングを調整します。デジタル入力信号の場合は使用できません。 次のトピックも参照してください。 21 ページの「画像の最適化」		0 から 100
Phase (フェーズ)	アナログ入力ビデオ信号と同期を取るように、周波数のフェーズタイミングを調整します。デジタル入力信号の場合は使用できません。 次のトピックも参照してください。 21 ページの「画像の最適化」		0 から 63

Picture（画像）メニュー



1. **MENU**（メニュー）キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ キーを押して **PICTURE**（画像）を選択し、**ENTER** キーを押すとメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、**ENTER** キーを押してそのアイテムを選択します。
4. ▲ または ▼ キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、**MENU**（メニュー）ボタンを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
Brightness （輝度）	<p>明るいシェードと暗いシェードのバランスを調整します。</p> <p>☞ この機能は DynamicContrast が有効でなければ使用できません。</p>	▲ キーを押すと輝度が上がり、▼ キーを押すと輝度が下がります。	0 から 100
Contrast（コントラスト）	<p>暗いエリアと明るいエリアの差を調整します。</p> <p>☞ この機能は DynamicContrast が有効でなければ使用できません。</p>	▲ キーを押すとコントラストが上がり、▼ キーを押すとコントラストが下がります。	0 から 100
Sharpness （鋭さ）	被写体の鮮明さを調整します。	▲ キーを押すと画面の鮮明さが向上され、▼ キーを押すとソフトになります。	1 から 5
Color（カラー設定）- ENTER を押すと Color（カラー設定）メニューに入ります。			

Normal (標準)	ビデオや静止画を自然な色で表示します。これは工場出荷時の標準値になっています。		
Bluish (薄青)	画像の色合いを寒色系にします。これは工場設定値を PC 業界標準の白にします。	▲ または ▼ キーを押してこのオプションを選択します。	
Reddish (薄赤)	画像の色合いを暖色系にします。これは工場設定値を新聞印刷標準の白にします。		
User Mode (ユーザー)	画像の色合いをユーザー自身で設定することができます。赤、緑、青の原色を混ぜ合わせることで、画像の色合いを変更します。デフォルトの開始設定値は 50 になっています。この値を下げると画像の各色が変わります。たとえば、青のレベルを下げると、黄色がかった色合いになります。緑のレベルを下げると、画像はマゼンタに近い色になります。	▲ または ▼ キーの後に ENTER キーを押して、Red (赤)、Green (緑) または Blue (青) を選択してください。次に ▲ または ▼ キーを押して色調整を行います。	<ul style="list-style-type: none"> • Red (赤) (0 から 100) • Green (緑) (0 から 100) • Blue (青) (0 から 100)
Reset Color (色のリセット)	User Mode (ユーザー) 設定色をデフォルト値に戻します。	▲ または ▼ キーを押して値を調整します。	<ul style="list-style-type: none"> • Yes (はい) • No (いいえ)
MENU を押して Color (カラー設定) メニューを終了します。			
DynamicContrast (ダイナミクス コントラスト)	<p>ダイナミック画像を表示するのに適しています。この機能はコントラストのレベルを高めることにより、シャープでクリアな画質を実現します。</p> <p> ダイナミクスコントラスト有効時には、輝度とコントラストの調整はできません。</p>	ENTER キーを押すとそのオプションが選択されます。 ▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	<ul style="list-style-type: none"> • ON (オン) • OFF (オフ)

Picture Advanced (画像の詳細設定) メニュー



1. **MENU** (メニュー) キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ キーを押して **PICTURE ADVANCED** (画像の詳細設定) を選択し、**ENTER** キーを押すとメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、**ENTER** キーを押してそのアイテムを選択します。
4. ▲ または ▼ キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、**MENU** (メニュー) キーを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
Picture Mode (画像モード)	<p>画面に表示する画像の種類に最も合ったモードを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタンダード - 基本的な PC アプリケーションで使用します。 ・ムービー - ビデオを見る時に使用します。 ・ダイナミクス - 風景ビデオを見たり、ゲームをする時に使用します。 ・フォト - 静止画を見るときに使用します。 ・sRGB - プリンタや DSC などの周辺機器との色を一致させます。 	▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンダード ・ムービー ・ダイナミクス ・フォト ・sRGB
Senseye Demo (デモ)	<p>画像モードで選択したモードを使って、画像をプレビューします。スクリーンは2つのウィンドウに分割されます。左側のウィンドウにはスタンダードモードで画像が表示され、右側のウィンドウには指定したモードで画像が表示されます。</p>	▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ON (オン) ・OFF (オフ)

System（システム）メニュー



1. **MENU**（メニュー）キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ キーを押して **SYSTEM**（システム）を選択し、**ENTER** キーを押すとメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、**ENTER** キーを押してそのアイテムを選択します。
4. ▲ または ▼ キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、**MENU**（メニュー）ボタンを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
Input（入力）	この設定はビデオケーブルの接続タイプを選択するときに使用します。	▲ または ▼ キーを押して値を調整します。	<ul style="list-style-type: none"> • DVI • D-sub • HDMI*
OSD Settings（OSD 設定） - ENTER を押すと OSD Settings（OSD 設定）メニューに入ります。			
Language（言語）	OSD メニューの言語を選択します。	▲ または ▼ キーを押して値を調整します。 ☞ 本製品をお求めになった地域によっては、OSD に表示される言語オプションが右図とは異なる場合があります。	<ul style="list-style-type: none"> • English • Français • Deutsch • Italiano • Español • Polski/ 日本語 • Český/ 繁體中文 • Magyar/ 简体中文 • SiCG / BiH / CRO • Română • Nederlands • Русский • Svenska • Português

H. Position (水平位置)	OSD メニューの水平位置を調整します。	▲ または ▼ キーを押して値を調整します。	0 から 100
V. Position (垂直位置)	OSD メニューの垂直位置を調整します。		0 から 100
Display Time (表示時間)	OSD メニューの表示時間を調整します。		<ul style="list-style-type: none"> • 5 秒 • 10 秒 • 15 秒 • 20 秒 • 25 秒 • 30 秒
OSD Lock (OSD ロック)	モニタ設定が誤って変更されるのを防止します。この機能が有効になっている間は、OSD コントロールとホットキーはすべて無効になります。	<p>▲ または ▼ キーを押して値を調整します。</p> <p>☞ OSD がロックされているときに OSD コントロールをロック解除するには、メニューキーを 15 秒間押すと、OSD ロックオプションが開きますので設定を変更してください。または、▲ キーか ▼ キーを使って [OSD 設定] メニューの [OSD ロック] サブメニューから [オフ] を選択すると、すべての OSD コントロールにアクセスすることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ON (オン) • OFF (オフ)
MENU (メニュー) を押して OSD Settings (OSD 設定) メニューを終了します。			
DDC/CI* (DDC/CI)	PC のソフトウェアからモニタ設定を行うことができます。	ENTER キーを押すときのオプションが選択されます。 ▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	<ul style="list-style-type: none"> • ON (オン) • OFF (オフ)
Information (情報)	モニタのプロパティ設定を表示します。	ENTER キーを押すときのオプションが選択されます。	
Reset All (すべて元に戻す)	すべてのモード、色、その他の設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。	▲ または ▼ キーを押して値を調整します。	<ul style="list-style-type: none"> • Yes (はい) • No (いいえ)



*HDMI (High Definition Multimedia Interface) は初めて業界でサポートされた、圧縮をかけない、オーディオ / ビデオソースと、オーディオあるいはビデオモニタ間の完全デジタルオーディオ / ビデオインターフェースです。他のコネクタとは異なり、HDMI コネクタは同一ケーブルでビデオ信号とオーディオ信号の両方を転送することができ、未圧縮のオーディオおよびビデオを転送して高品質な画像を再現します。この規格はデジタル TV (DTV)、セットトップボックス、DVD プレーヤー、DVD レコーダなどでサポートされています。FP222W H の HDMI コネクタは、ビデオソースにしか対応してません。



*Video Electronics Standards Association (VESA) により開発された DDC/CI (Display Data Channel/Command Interface の略) は、既存の DDC 規格を拡張したものです。DDC/CI 機能はソフトウェアを使ってモニタコントロールからリモート診断を送信することができます。

9. トラブルシューティング

よくある質問 (FAQ)

② 画像がぼやける：

☞ 19 ページの「スクリーンの解像度の調整方法」についてのページを読み、最適な解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。

☞ VGA 延長ケーブルを使用している場合

テストを行うため、延長ケーブルを取り外します。画像の焦点が合っていることを確認してください。合っていない場合は、20 ページの「リフレッシュレートの調整方法」についてのページに記載されているステップに従い、画像の最適化を行ってください。ぼやけは、延長ケーブルでの伝送損失によって自然に発生します。伝送品質に優れた、または内蔵ブースタを備えた延長ケーブルを使用することにより、これらの損失を最小限に抑えることができます。

☞ ネイティブ (最大) 解像度より低い解像度でのみぼやけが発生する場合

19 ページの「スクリーンの解像度の調整方法」についてのページをお読みください。ネイティブ解像度を選択します。

② ピクセル エラーが表示される：

☞ 一部のピクセルが常時点灯したまま、または点灯しないままであったり、赤、緑、青、その他の色になったままの場合

- LCD スクリーンをきれいに掃除してください。
- 電源のオン/オフを切り替え。
- モニタの動作中に常時点滅する画素が少々存在することがありますが、これは液晶技術で一般的に発生する状況で、故障ではありません。

② 画像が不自然な色で表示される：

☞ 画像が黄、青、または薄いピンク色で表示される場合

MENU (メニュー) > PICTURE (画像) > Color (カラー設定) > Reset Color (色のリセット) を選択し、CAUTION (注意) メッセージボックスで YES (はい) を選択すると色の設定がデフォルト値に戻されます。

それでもイメージが正しく表示されず、OSD が不自然な色で表示されている場合は、3 つの基本色のうちいずれかの信号入力が行われていません。信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。

② 画像が表示されない：

☞ ディスプレイのプロンプトが緑色に点灯している場合

LED が緑色に点灯し、画面に「Out of Range」というメッセージが表示されている場合は、モニタがサポートしていないディスプレイ モードを使用しています。モニタがサポートするモードのいずれかに設定を変更してください。「36 ページの「対応する PC タイミング」」のセクションをお読みください。1680 x 1050 @ 60Hz を推奨。

② ディスプレイのプロンプトがオレンジ色に点灯している場合

LED がオレンジ色に点灯している場合は、省電力モードが有効になっています。コンピュータのキーボードで任意のキーを押すか、マウスを動かしてください。それでも解決しない場合は、信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。

☞ ディスプレイのプロンプトがまったく点灯しない場合

電源のメインソケット、外部電源、メインスイッチをチェックしてください。

② 画像がゆがむ、フラッシュする、ちらつく：

☞ **19 ページの「スクリーンの解像度の調整方法」**についてのページを読んで、正しい解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。

② 画像が片側に寄ってしまう：

☞ **19 ページの「スクリーンの解像度の調整方法」**についてのページを読んで、正しい解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。

② OSD コントロールにアクセスできません：

- OSD がロックされているときに OSD コントロールをロック解除するには、メニューキーを 15 秒間押すと、OSD ロックオプションが開きますので設定を変更してください。
- または、▲ キーか ▼ キーを使って [OSD 設定] メニューの [OSD ロック] サブメニューから [オフ] を選択すると (システムメニュー)、すべての OSD コントロールにアクセスすることができます。

それでも具合が悪いときは


このガイドの指示に従って調整を行っても問題が解決しない場合には、お買い上げいただいた販売店にご連絡いただくか、servicejp@BenQ.com まで電子メールにてお問い合わせください。

10. 対応する PC タイミング

入力ディスプレイ モード (入力タイミング)				
解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル周波数 (MHz)	備考
640x350	31.47	70.08	25.17	DOS
720x400	31.47	70.08	28.32	DOS
640x480	31.47	60.00	25.18	DOS
640x480	35.00	67.00	30.24	Macintosh
640x480	37.86	72.80	31.50	VESA
640x480	37.50	75.00	31.50	VESA
800x600	37.88	60.32	40.00	VESA
800x600	48.08	72.19	50.00	VESA
800x600	46.86	75.00	49.50	VESA
832x624	49.72	74.55	57.29	Macintosh
1024x768	48.36	60.00	65.00	VESA
1024x768	56.48	70.10	75.00	VESA
1024x768	60.02	75.00	78.75	VESA
1024x768	60.24	74.93	80.00	Macintosh
1152x864	67.50	75.00	108.00	VESA
1152x870	68.68	75.06	100.00	Macintosh
1152x900	61.80	66.00	94.50	SUN 66
1152x900	71.81	76.14	108.00	SUN
1280x1024	64.00	60.00	108.00	VESA
1280x1024	75.83	71.53	128.00	IBMI
1280x1024	80.00	75.00	135.00	VESA
1280x1024	81.18	76.16	135.09	SPARC2
1680x1050	75.00	60.00	162.00	VESA

- 画像の乱れは、通常の規格に対応していない VGA カードによる信号周波数が異なるために発生している場合があります。ただし、これはエラーではありません。自動設定を変更したり、[DISPLAY (表示)] メニューから位相設定とピクセル周波数を手動で変更することで、状態を改善できます。
- 本製品を長くお使いいただくため、電源の操作はコンピュータを使用して行ってください。

11.仕様

モデル	FP222W H
ディスプレイタイプ 可視域対角 ネイティブ(最大)解像度 カラー コントラスト/輝度 Dynamic Contrast (ダイナミックコントラスト) 率 応答時間 視角(左右、上下)	22.0"、アクティブ、TFT 558.68 mm 1,680 × 1,050 1670 万色 700:1 / 300 cd/m ² 2000:1 (標準) 5 ms 170, 160 (CR≥10)
ライン周波数 画像周波数	30 - 82 kHz マルチ周波数モニタ 56 - 76 Hz (パラメータ以内のモード)
画像診断 制御装置 機能	デジタル、OSD テクノロジ、[i key] (自動画像設定) 7つのボタンおよび [i key] コントラスト、輝度、垂直および水平画像位置、位相、ピクセルクロック、カラーバランス、カラーパレット、画像モード、デモ、多重言語 OSD、OSD ポジション、OSD ロック、DDC/CI*、ク入力選択、ダイナミクスコントラスト
電源管理 最大消費電力 電力消費スタンバイ	VESA DPMS、EPA ≤ 49 W ≤ 1 W, 120 V ≤ 2 W, 240 V  This product complies with ENERGY STAR® Program Requirements for Computer Monitors. Version 4.0.
入力信号 PC 同期	RGB アナログ 0.7 Vpp/75 オーム ポジティブ デジタル : DVI-D, HDMI* (オプション) TTL 分離信号接続 15 ピン ミニ D-sub ケーブル
温度(動作時) 湿度(動作時)	0 °C ~ 40 °C 10% ~ 90%
規格	TCO 03, TÜV/Ergonomics, TÜV/ GS, FCC Class B, ISO 13406-2, VCCI, CB Report, CE, C-Tick, BSMI, Fimko, GOST, CSA, CCC, MIC

動作電圧	自動切替モード電源、100-240 V, 50-60 Hz
寸法 (高さ × 幅 × 奥行)	422.45 × 518.26 × 169.57 mm
重量	5.8 kg



*HDMI (High Definition Multimedia Interface) は初めて業界でサポートされた、圧縮をかけない、オーディオ / ビデオソースと、オーディオあるいはビデオモニタ間の完全デジタルオーディオ / ビデオインターフェースです。他のコネクタとは異なり、HDMI コネクタは同一ケーブルでビデオ信号とオーディオ信号の両方を転送することができ、未圧縮のオーディオおよびビデオを転送して高品質な画像を再現します。この規格はデジタル TV (DTV)、セットトップボックス、DVD プレーヤー、DVD レコーダなどでサポートされています。**FP222W H** の HDMI コネクタは、ビデオソースにしか対応してません。



*Video Electronics Standards Association (VESA) により開発された DDC/CI (Display Data Channel/Command Interface の略) は、既存の DDC 規格を拡張したものです。DDC/CI 機能はソフトウェアを使ってモニタコントロールからリモート診断を送信することができます。